

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アイビー化粧品

コード番号 4918 URL <http://www.ivy.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白銀 浩二

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部 本部長

(氏名) 中山 聖仁

TEL 03-3568-5151

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	2,631	△4.7	332	5.6	330	7.1	164	1.1
23年3月期第2四半期	2,761	5.2	315	△11.0	308	△10.1	162	△14.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 164百万円 (2.1%) 23年3月期第2四半期 161百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	7.60	—
23年3月期第2四半期	7.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	5,751	2,773	48.2	128.17
23年3月期	5,603	2,717	48.5	125.57

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,773百万円 23年3月期 2,717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	1.3	360	4.9	350	7.0	170	8.2	7.86

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期2Q	25,520,000 株	23年3月期	25,520,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	3,882,535 株	23年3月期	3,880,995 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期2Q	21,638,164 株	23年3月期2Q	21,716,859 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

平成23年11月7日付で、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表の「独立監査人の四半期レビュー報告書」を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国を取り巻く環境は、東日本大震災の影響や海外経済の回復力が弱まっていることを受け、景気や雇用情勢は依然として厳しい状況にあります。しかしながらサプライチェーンの立て直しによる生産活動の回復、輸出の持ち直しの動き、設備投資の下げ止まり、低水準ながら個人消費の持ち直しなどの傾向も見られ、政策効果などを背景にした景気の持ち直しが期待されています。

化粧品訪問販売チャネルの傾向としましては、女性の社会進出が進み戸別訪問による販売が難しくなっている中、店舗化やインターネットによる情報提供などを通して、企業が顧客に対してコミュニケーションを図る取り組みが見られるものの、新規顧客の獲得はなかなか難しい状況が続いています。

このような状況のもとで、当社グループは企業理念「愛と美と豊かさの実践と追求」に基づき、創業当初からこだわってきた“人から人へ伝えていく力”を大切に、コア事業である訪問販売領域の販売組織満足の向上を図るとともに、すべてのステークホルダーの満足獲得を目指し、「驚きと楽しさと感動に溢れる美しい生き方」をともに創造し、幸せと豊かさを提供するワンダ・フル・カンパニーとして成長すべく、企業活動に邁進してまいりました。

具体的には、「アイビーファン10万人づくり」に向けて、基本の仕事である動員・増員・増客を行い、販売拠点の拡大と育成に努めてまいりました。販売拠点である営業所づくりを継続推進し、販売組織の活性化とお客様獲得を積極的に展開してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の営業所増設数は前年同四半期比66.3%増となり、販売拠点数は量的に増加しました。また当社の理念研修や美容研修の開催・動員のほか、営業所対象の月例会議への動員を通して、育成並びに質的向上にも地道に努めてまいりました。そのような活動の結果、売上高におきましては「リンクル ローション」や「アクシール エッセンス」の美容液は安定して推移しましたが、第1四半期の売上高減額分までをカバーするには至りませんでした。利益面におきましては、引き続き販売費及び一般管理費の節減に全社を挙げて努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,631,495千円（前年同四半期比4.7%減）、営業利益332,982千円（同5.6%増）、経常利益330,136千円（同7.1%増）、四半期純利益164,426千円（同1.1%増）の減収増益となりました。

なお、当社グループの事業は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産の残高は3,651,121千円（同3,458,898千円）となり、前連結会計年度末に比べ192,222千円増加しました。これは主に現金及び預金が568,908千円減少したものの、受取手形及び売掛金が686,774千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産の残高は2,098,799千円（同2,143,028千円）となり、前連結会計年度末に比べ44,228千円減少しました。これは主に有形固定資産が19,166千円減少したことによるものであります。

(繰延資産)

当第2四半期連結会計期間末における繰延資産の残高は1,408千円（同1,878千円）となり、前連結会計年度末に比べ469千円減少しました。これは社債発行費が469千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,533,458千円となり（同2,407,237千円）となり、前連結会計年度末に比べ126,220千円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が43,940千円、未払金が70,664千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債の残高は444,499千円（同479,399千円）となり、前連結会計年度末に比べ34,900千円減少しました。これは主に社債が15,000千円、未払役員退職慰労金が24,045千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は2,773,371千円（同2,717,167千円）となり、前連結会計年度末に比べ56,203千円増加しました。これは主に剰余金の配当が108,195千円計上されたものの、四半期純利益が164,426千円計上されたことによるものであります。この結果、自己資本比率は、48.2%（同48.5%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加、法人税等の支払、配当金の支払等があるものの、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費、未払金の増加等により、前四半期連結累計期間末に比べ16,341千円増加し、当第２四半期連結累計期間末には819,946千円となりました。

また当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローは次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果使用した資金は416,324千円（前年同四半期比226,207千円増）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益322,386千円、減価償却費66,730千円、未払金の増加額63,434千円等があるものの、売上債権の増加額686,555千円、法人税等の支払額123,103千円、たな卸資産の増加額37,872千円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は20,348千円（前年同四半期は6,594千円の獲得）となりました。

これは主に貸付金の回収による収入12,262千円等があるものの、無形固定資産の取得による支出19,965千円、貸付けによる支出10,000千円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は131,884千円（前年同四半期比1,639千円減）となりました。

これは主に配当金の支払額107,727千円、社債の償還による支出15,000千円等があったことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

下期におけるわが国経済は、依然不透明な状況が予想され、個人消費の持ち直しも低水準で推移することが予想されます。

このような状況ではありますが、当社グループにおきましては、11月に発売した新製品「アイビーコスモス W エマルション クリーム」が好評を博しており、当初予想の３倍以上の10万個を上回る注文が入っており、大型ヒット商品となる見込みです。そのため、第３四半期・第４四半期の売上高が好調に推移することが予想され、通期の売上高は前回予想より増加する見込みです。また、営業利益・経常利益及び当期純利益につきましても、引き続き経費節減に努めていることから、前回予想より増加の見込みとなりましたので、平成23年５月13日に公表しました平成24年３月期通期の連結業績予想を変更しております。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,438,855	869,946
受取手形及び売掛金	1,338,696	2,025,470
商品及び製品	339,021	379,780
仕掛品	12,344	5,374
原材料及び貯蔵品	191,739	195,822
その他	190,638	236,781
貸倒引当金	△52,396	△62,053
流動資産合計	3,458,898	3,651,121
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	505,124	489,333
機械装置及び運搬具（純額）	70,528	64,924
土地	521,190	521,190
その他（純額）	39,633	41,863
有形固定資産合計	1,136,476	1,117,310
無形固定資産	59,233	62,914
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	283,888	281,460
差入保証金	402,831	402,263
その他	317,454	289,877
貸倒引当金	△56,856	△55,025
投資その他の資産合計	947,318	918,574
固定資産合計	2,143,028	2,098,799
繰延資産		
社債発行費	1,878	1,408
繰延資産合計	1,878	1,408
資産合計	5,603,805	5,751,329

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	417, 881	461, 822
短期借入金	800, 000	800, 000
1年内償還予定の社債	530, 000	530, 000
未払法人税等	128, 069	157, 237
賞与引当金	114, 535	103, 197
返品廃棄損失引当金	6, 000	6, 000
その他	410, 750	475, 199
流動負債合計	2, 407, 237	2, 533, 458
固定負債		
社債	320, 000	305, 000
退職給付引当金	99, 416	107, 092
その他	59, 983	32, 406
固定負債合計	479, 399	444, 499
負債合計	2, 886, 637	2, 977, 958
純資産の部		
株主資本		
資本金	804, 200	804, 200
資本剰余金	343, 800	343, 800
利益剰余金	2, 960, 372	3, 016, 604
自己株式	△1, 269, 656	△1, 269, 839
株主資本合計	2, 838, 715	2, 894, 764
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2, 047	△1, 892
土地再評価差額金	△119, 500	△119, 500
その他の包括利益累計額合計	△121, 548	△121, 393
純資産合計	2, 717, 167	2, 773, 371
負債純資産合計	5, 603, 805	5, 751, 329

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	2,761,191	2,631,495
売上原価	700,518	579,060
売上総利益	2,060,672	2,052,435
販売費及び一般管理費	1,745,234	1,719,452
営業利益	315,438	332,982
営業外収益		
受取利息	2,588	2,227
受取配当金	310	320
受取賃貸料	19,997	15,233
雑収入	15,556	14,763
営業外収益合計	38,453	32,544
営業外費用		
支払利息	10,134	9,034
賃貸収入原価	31,482	21,661
雑損失	3,992	4,694
営業外費用合計	45,610	35,390
経常利益	308,281	330,136
特別損失		
会員権評価損	—	7,750
特別損失合計	—	7,750
税金等調整前四半期純利益	308,281	322,386
法人税、住民税及び事業税	147,120	151,853
法人税等調整額	△1,483	6,106
法人税等合計	145,637	157,959
少数株主損益調整前四半期純利益	162,644	164,426
四半期純利益	162,644	164,426

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	162,644	164,426
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,383	155
その他の包括利益合計	△1,383	155
四半期包括利益	161,261	164,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	161,261	164,582

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	308,281	322,386
減価償却費	73,477	66,730
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,732	7,676
賞与引当金の増減額 (△は減少)	505	△11,338
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,457	7,827
受取利息及び受取配当金	△2,899	△2,548
支払利息	10,134	9,034
為替差損益 (△は益)	162	351
有形固定資産除売却損益 (△は益)	78	431
売上債権の増減額 (△は増加)	△732,744	△686,555
たな卸資産の増減額 (△は増加)	20,308	△37,872
仕入債務の増減額 (△は減少)	102,220	43,940
未払金の増減額 (△は減少)	61,802	63,434
未払役員退職慰労金の増減額 (△は減少)	—	△24,045
その他	19,732	△46,124
小計	△136,214	△286,670
利息及び配当金の受取額	1,858	2,505
利息の支払額	△10,040	△9,056
法人税等の支払額	△45,720	△123,103
営業活動によるキャッシュ・フロー	△190,117	△416,324
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,146	△3,270
無形固定資産の取得による支出	△4,194	△19,965
貸付けによる支出	—	△10,000
貸付金の回収による収入	5,612	12,262
差入保証金の差入による支出	△164	△362
差入保証金の回収による収入	3,773	987
その他	7,713	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,594	△20,348
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,982	△8,973
社債の償還による支出	△15,000	△15,000
自己株式の取得による支出	△56	△183
配当金の支払額	△109,484	△107,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,523	△131,884
現金及び現金同等物に係る換算差額	△162	△351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△317,209	△568,908
現金及び現金同等物の期首残高	1,120,814	1,388,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	803,605	819,946

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

当社グループは化粧品の専門メーカーとして、同一セグメントに属する化粧品の製造、販売を行っているため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。